

中京大都市圏づくり



愛知県では、大都市名古屋を中心に社会的・経済的な結びつきが強く、
一体性の強い産業集積を有するエリア（名古屋を中心とした概ね 80km～100km 圏）を
「中京大都市圏」と位置づけ、世界と直結する一大産業拠点としての役割を担っていくとともに、
この地域の多様な魅力を発信しながら、国内外から人・モノ・カネ・情報を呼び込み、
世界の中で存在感を発揮できる大都市圏づくりを進めています。

中京大都市圏

国内外から人・モノ・カネ・情報が集まり、活発な交流が展開されるためには、圏域内の総合的な交通ネットワークを充実するとともに、世界との直結性を高め、アジアの大都市圏との競争に負けないインフラ環境をつくっていくことが必要です。また、名古屋都心部への高次都市機能の集積を図るとともに、圏域内の主要都市において、地域の特色を活かした機能集積を図り、リニア開業のインパクトを圏域全体で受け止めていくことが重要です。さらには、こうした取組を自主的・自立的に実施できるよう、国からの権限・財源の移譲を求めていくとともに、この地域の中心都市である名古屋市と愛知県がベクトルを合わせた取組を進めていくことが必要です。

愛知県では、リニア中央新幹線の整備促進と40分交通圏の拡大、広域道路ネットワークの整備、空港・港湾の機能強化、名古屋都心部への高次都市機能の集積、主要都市等の機能充実などに取り組んでいます。また、地方分権や中京圏構想の推進など、自立する大都市圏に向けた取組を進めています。

リニア中央新幹線の整備促進

東京都-名古屋市間を時速500km、約40分で結ぶリニア中央新幹線は、2027年度の開業に向けて、2016年12月に名古屋駅で着工するなど、愛知県内においても本格的な工事が始まっています。愛知県では、着実に事業が進むよう、国・関係機関への働きかけや事業推進に必要な調整を行っています。



リニア中央新幹線 (イメージ)

©Central Japan Railway Company. All rights reserved.

主要幹線道路網の整備

名古屋港への重要なアクセス道路である名古屋環状2号線の整備や、三河港と輸送機器等の生産拠点を結ぶ名豊道路の整備等を加速するよう、国への働きかけを行っています。

また、名古屋高速道路を經由して名古屋都心部と中部国際空港を最短で結ぶ西知多道路の早期全線開通に向けて、国と連携して事業を進めています。



名豊道路 (蒲郡IC)



名古屋港の機能強化

中部地域のモノづくり産業を支える港湾として、飛鳥ふ頭東側のコンテナ取扱機能の強化に向けた岸壁整備や、

金城ふ頭の完成自動車取扱機能の強化に向けた岸壁整備など、「国際産業戦略港湾」としての機能強化に取り組んでいます。



名古屋港 (飛鳥ふ頭東側)

名古屋港管理組合提供



中部国際空港

中部国際空港株式会社提供

中部国際空港の機能強化

二本目滑走路を始めとする機能強化の早期実現に向けて、国への働きかけ等を行うとともに、エアポートセールスやアジア地域をターゲットとしたインバウンド旅客誘致事業等を実施するなど、地域が一丸となって、航空ネットワークの拡充と航空需要の拡大を図っています。

名古屋駅のスーパーターミナル化と名古屋駅周辺まちづくり



名古屋駅周辺

photo by miy@t@

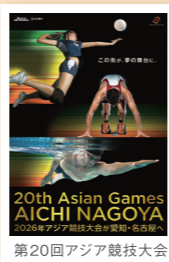
リニア中央新幹線の開業に向け、名古屋駅周辺では、民間事業者による再開発が進んでいます。愛知県では、名古屋市や民間事業者等と連携し、中京大都市圏の玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化や、名古屋駅周辺のまちづくりを始め、名古屋都心部の高次都市機能の集積を図る取組を進めています。

文化・スポーツ・魅力発信

中京大都市圏を実現していくためには、国内外から人を惹きつける魅力やその発信が不可欠です。愛知県では、「あいちトリエンナーレ」など文化芸術の国際的なイベントの開催、2026年の「第20回アジア競技大会」など国際的・全国的なスポーツ大会の招致・開催、武将観光・産業観光の推進、伝統文化・食文化等のPRなどに取り組んでいます。

第20回アジア競技大会の開催

2016年9月、愛知・名古屋での「第20回アジア競技大会」(2026年)の開催が決定しました。アスリートファーストの視点を踏まえながら、簡素で質素な、そして機能的で合理的な大会とし、国際スポーツ大会の「愛知・名古屋モデル」を作ることをめざすなど、名古屋市と共に開催準備に全力で取り組んでいます。



第20回アジア競技大会

山車文化の発信

2016年12月に日本の「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録が決定しました。全国で登録された33件のうち、愛知県内には5件が所在し、全国最多となっています。愛知県では、山車まつりの保存団体・所在市町・県で構成する「あいち山車まつり日本一協議会」において、山車まつりの保存・継承を図るとともに、日本一の山車文化を積極的に発信しています。



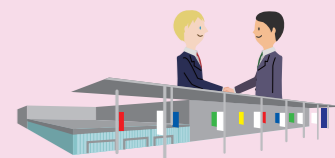
あいち山車まつり日本一協議会

グローバル展開



この地域の強みである圧倒的な産業集積を生かしながら、世界に開かれた大都市圏として発展していくためには、海外から企業や人材を呼び込み、活発な交流を促進していくとともに、来訪する外国人が快適に過ごせる、暮らせる魅力ある環境づくりを進めていく必要があります。

愛知県では、国際見本市・国際会議の誘致・開催や外資系企業の誘致、海外とのパートナーシップの構築、外国人留学生の獲得と地域定着の促進、外国人が暮らしやすい環境づくりなどに取り組んでいます。



海外とのパートナーシップの構築

愛知県では、グローバルな経済・社会の動きに的確に対応していくため、新たな国・地域とのパートナーシップの形成を図っています。2016年度は、アメリカ・テキサス州及びワシントン州、ベトナム・ホーチミン市と「友好交流及び相互協力に関する覚書」を、インドネシアの経済担当調整大臣府と「経済交流に関する覚書」を締結しました。



アメリカ・テキサス州との覚書締結

愛知県国際展示場の整備

2019年秋の開業に向け、空港島に日本初の国際空港隣接型となる展示面積6万㎡の「愛知県国際展示場」を整備します。

この展示場で、2020年に国が初めて開催するロボットの国際的な祭典「ワールドロボットサミット」が開催されます。また、周辺地域では、空港の新たな複合商業施設や新ターミナルの整備、新規ホテルの立地などが相次ぎます。空港島及び周辺地域が、新たな交流、賑わい、集客の拠点となるよう取り組んでいきます。



愛知県国際展示場 (イメージ)



リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏

中京大都市圏の実現に向けて、愛知県は、

中長期的な観点から愛知の進むべき

方向性を明らかにした「あいちビジョン2020」に沿い、

重要政策課題「中京大都市圏」に位置づけた交通基盤・都市基盤の整備を始め、

「グローバル展開」「産業革新・創造」「文化・スポーツ・魅力発信」

などの取組を進めています。

産業革新・創造

中京大都市圏が世界と直結する一大産業拠点としての役割を担っていくためには、産業競争力の更なる強化が必要です。

愛知県では、「知の拠点あいち」における研究開発の推進、豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業など自動車産業の高度化支援、「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進等による航空宇宙産業の振興、ロボット産業、健康長寿産業、環境・新エネルギー産業の育成などに取り組んでいます。

自動車産業の高度化

自動車産業の新たな研究開発拠点となる豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業を推進するとともに、電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)及び燃料電池自動車(FCV)に対する自動車税の課税免除や、水素ステーションの整備・運営に対する支援、自動走行の実証実験の実施・支援などにより、次世代自動車の普及を図っています。



FCV [MIRAI]の組立工程

また、産学行政で構成する「自動車安全技術プロジェクトチーム」において、自動車安全技術の開発・普及啓発等に取り組んでいます。

航空宇宙産業の振興

中部地域は日本の航空機・部品5割以上、機体部品の約8割を生産する国内最大の航空宇宙産業の集積地です。愛知県では、国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の活用等により民間企業の設備投資を支援しています。

また、国産初のジェット旅客機MRJが開発・生産される県営名古屋空港周辺地域を、人材育成の場・産業観光の場とすることをめざし、その中核となる拠点施設として「あいち航空ミュージアム」の整備を進めています。



あいち航空ミュージアム (イメージ)

